

新しい地域福祉の実践とその支援策 ～共生ケアを考える～

高齢者、障がい者、子ども等、年齢や障がいの有無を問わず、地域の住民と一緒に利用し必要な福祉サービスを受けられる「共生ケア」が全国的に広がつつあります。また、人材確保が難しい中山間地等の地域での、福祉サービス統合と地方創生のための「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)整備の動きとも関連していくことが考えられます。

この研修では、共生ケアの先進事例の紹介を通じて、地域に根付き発展した共生ケアの取り組み内容について学び、その政策的な推進方法や拠点の中だけにとどまらない、地域づくり、地域との共生についても考えます。

また、それぞれの地域の実情に合わせ、これからの地域福祉をいかに展開していけるか、生活困窮者支援や権利擁護支援などの福祉課題についても勘案しながら、行政の役割について学習します。

研修のポイント

- ◆講義及び事例紹介により共生ケアから発信される新しい地域福祉について学習し、行政が福祉課題をどう捉え、どのように関わっていくべきかを考えます。
- ◆県レベルに広がった「このゆびと～まれ」の先駆的な実践、高知県中土佐町の取り組みや、被災地でのNPO法人の活動の紹介により、それぞれの地域の課題抽出法や実情に合わせた地域福祉の推進方法について学びます。
- ◆演習により、新しい地域福祉を推進するための方法や、仕組みづくりを考えます。

開催要領

| | |
|------|---|
| 日程 | 平成28年7月27日(水)～7月29日(金)(3日間) |
| 場所 | 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分 |
| 対象 | 市町村等の福祉担当、地域振興担当等の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。 |
| 募集人数 | 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。 |
| 宿泊 | 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。 |
| 経費 | 13,902円 上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。 |
| 申込期限 | 平成28年6月14日(火)まで |
| 申込方法 | JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(http://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。 |
| 受講決定 | 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。 |
| 事前課題 | 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。 受講決定通知とともに課題図書(購入費用は研修経費に含む。)をお送りしますので、一読のうえ当日お持ちください。 |
| その他 | 受講決定後のキャンセルにつきましては、受講決定通知とともに送りする課題図書の経費(実費)を申し受けます。 |

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



研修所までの交通のご案内



[研修の内容及び日程]

7/27
(水曜日)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～15:15 **新しい地域福祉の実践 ～共生ケアを考える～** 日本福祉大学 副学長 **平野 隆之** 氏
本研修の導入として、地域福祉の理論的枠組みや制度について学ぶとともに、研修で行う事例紹介の理解を深めるため、基礎的な項目について講義をいただきます。多世代交流の多機能型拠点の推進についても解説していただきます。
- 15:30～17:00 **【事例紹介】富山型とは ～このゆびと一まれの実践から～**
このゆびと一まれ 代表 **惣万 佳代子** 氏
コーディネーター 日本福祉大学 副学長 **平野 隆之** 氏
当時、存在しなかった小規模多機能型の富山型福祉サービスの先駆者として、主導的な立場を担い、全国的な広がりには先鞭をつけられた惣万佳代子氏から、「富山型共生ケア」の現場と発展の経緯についてお話しいたします。また、平野先生のコーディネートにより意見交換を行います。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

7/28
(木曜日)

- 9:00～12:00 **【事例紹介】富山県の取り組み ～地域共生型の広がり～**
富山県厚生部高齢福祉課 地域包括ケア推進班 班長 **牧 勇** 氏
高齢者、障がい児者等を一緒にケアする富山型デイサービスは、特区制度を活用し、国に規制緩和等を働きかけ、全国に普及・展開がされてきました。地域に必要な福祉を実現するために、利用者が必要とするサービスを事業所が提供できるために、行政が実施する施策についてお話しいたします。
- 【事例紹介】中土佐町の取り組み ～行政としての地域福祉の推進～**
高知県中土佐町健康福祉課 課長 **今橋 順子** 氏
中土佐町では、地域福祉計画と「あったかふれあいセンター事業」(高知県)に加え、「地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」(厚生労働省)などを活用して地域福祉が推進されています。支援を必要とする人のニーズの把握と、漏れのない支援体制の構築に向けた取り組みをご紹介します。
- 【事例紹介】被災地での共生ケアの実践から**
NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 **池田 昌弘** 氏
被災地では、暮らしの大きな変化などで日常生活に困難を抱えた人への支援が既存の仕組みでは十分でなく、緊急対応や臨機応変な対応が求められました。誰もが自分らしく、住みたい地域で最期まで暮らし続けるために、「(一定期間の)居住」や「通い」利用などを通して、次の生活場所への移行や自立支援に取り組む実践についてお話しいたします。
- 13:00～14:30 **【意見交換会】ワールドカフェ**
事例紹介からの学び、参加自治体の取り組み内容や課題について、ワールドカフェ形式で情報・意見交換をしていただきます。
※ワールドカフェとは、メンバーの組み合わせを変えながら小グループで話し合いを続け、あたかも全員で話し合っているような効果が得られる演習手法です。
- 14:45～17:00 **【課題演習】グループ討議** 日本福祉大学 地域ケア研究推進センター **奥田 佑子** 氏
日本福祉大学 福祉社会開発研究所 **小木曾 早苗** 氏
共生型福祉の課題に対してグループ別の作業を行い、解決方法等を討議しながらまとめます。その作業を通じて、これまでの講義・事例紹介から得た学びを活かし、それぞれの自治体における地域福祉の推進方法について考えを深めます。

7/29
(金曜日)

- 9:25～12:00 **【課題演習】発表・講評** 日本福祉大学 副学長 **平野 隆之** 氏
前日のグループ討議の結果や、グループ内の自治体に共通する課題・疑問点について発表していただき、講師から解説していただきます。
- 13:00～14:10 **【総括講義】新しい地域福祉の政策づくりと実践の普及に向けて**
日本福祉大学 副学長 **平野 隆之** 氏
これまでに学んだ地域福祉の基本的事項について総括していただくとともに、行政としての地域福祉に対する支援策や、新しい地域福祉の実践方法についてもお話しいたします。
- 14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM
メールマガジンの
お知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。